

平成 30 年度 第 1 回磐田市廃棄物減量化等推進審議会 会議録

【日 時】 平成 30 年 7 月 11 日（水）午前 10 時 00 分～

【会 場】 磐田市クリーンセンター 2 階研修室

【出席者】 会 長 川島 あつ江（今回選出）
副会長 藤田 允（今回選出）
委 員 玉田 文江 稲垣 幸子
今泉 佳代 宮地 浩
清野 英明 伊藤 慎弥
鈴木 正人 村上 ナオキ
門名 泰知 田中 秀次
順不同（12名出席）

（欠 席 鎌田 俊己）

【事務局】 環境水道部長、ごみ対策課長、ごみ対策課長補佐、
ごみ対策課主幹、審議会担当職員 2 名

【会議概要】

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 環境水道部長挨拶
4. 委員自己紹介
5. 役員の選出
6. 議事
 - (1) 本市のごみ排出量について
 - (2) 今年度の新たな取り組みについて
 - (5) 現在の取り組みについて
7. 閉会

【意見・質疑の主な内容】

1. 開会

事務局 | こんにちは。磐田市ごみ対策課長の寺田でございます。よろしくお願いいたします。本日はお忙しい中、またお暑い中、審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃は本市のごみの減量施策の推進にご理解とご協力を賜りまして重ねてお礼申し上げます。会に先立ちまして、少しPRさせていただきます。皆さまの机の上にはわた茶の缶を置かせていただきました。わた茶振興協会・協議会さんが厳選しました磐田市産の一番茶を100%使用し、渋みの少ないすっきりした味わいで現在売り出し中でございます。庁舎内の自動販売機やとよおか採れたて元気村、しおさい竜洋、香りの博物館等で販売をしておりましたが、6月29日にセブン-イレブン・ジャパンさんと磐田市で包括協定を結び、磐田の加茂店を皮切りに、セブンイレブン各店舗さんでご購入できるようになってきます。またわた茶の知名度アップに向けまして、皆様のご協力をいただければと思います。この廃棄物減量化等推進審議会につきましては、一般廃棄物の減量化や資源化の推進、訂正処理に関する事等について市民の代表の皆様にご審議していただくために、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例により設置されております。前年度委員さんの任期が6月末で満了となった為、新たに13名の皆さんに委員をお願いすることとなりました。会長副会長が選出されるまでの間は、私の方で会を進めさせていただきますので、お願いいたします。

それでは、ただいまより平成30年度第1回磐田市廃棄物減量化等推進審議会を開催させていただきます。

2. 委嘱状交付

3. 環境水道部長挨拶

環境水道部長 | 改めましてこんにちは。皆さま快く当審議会委員を引き受けてくださりましてありがとうございます。心より御礼申し上げます。また皆様との関係する団体につきましては快く皆様を送り出させていただきましたことに感謝を申し上げます。さて今から2年間皆様には磐田市の廃棄物行政の根幹となります、減量化とリサイクルの推進についてご意見を頂きたいと思っております。

先週、西日本を中心に大きな災害がありました。現地では廃棄物が多く出て処分も大変だと思います。本市にも応援要請が来るかもしれない、いつでも行ける体制を整えていました。要請はありませんでしたが、バキューム車やパッカー車、給水車の要求がありましたら行けるよう準備しています。やはりライフラインとごみというのは皆さまが生活する中で一番重要なところだと思っています。みなさんの御知恵を拝借しまして、2年間より良い磐田市にしていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

4. 委員の自己紹介

5. 役員を選出

事務局	続きまして役員を選出に移らせていただきます。会長副会長さんの選任におきましては、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第24条に委員の互選により定めると規定されておりますので、皆様のご意見をお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。
委員	《意見なし》
事務局	皆様の特別なご意見が無いようですので、事務局の方から会長副会長様の人選についてご提案させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
委員	《異議なし》
事務局	それでは会長につきましては、前期で審議会会長を務められ、市内でごみ減量の様々な活動をしていらっしゃる磐田消費者協会川島あつ江委員さんが適任かと思います。また副会長には自治会連合会の藤田允委員さんをお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。
委員	《異議なし》
事務局	それでは、会長には磐田消費者協会川島あつ江委員、副会長には自治会連合会藤田允委員をお願いしたいと思います。一言ずつご挨拶をお願いいたします。

会長	会長になりました川島と申します。前年度に引き続きよろしくお願 い致します。
副会長	藤田でございます。自治会連合会から参りましたが、昨年も1年間務 めさせていただきました。ここへきて感じますが、ごみというのはご みではなく大事な資源だなということを改めて感じました。よろしく お願い申し上げます。

6. 議事

- (1) 本市のごみ排出量について
 - (2) 今年度の新たな取り組みについて
 - (3) 現在の取り組みについて
- 《(1)～(3)を事務局より一括して説明》

会長	ただいま事務局から説明がありましたが、これに関してご意見や質問 がありましたらお願いします。
委員	スプレー缶事故というのはどういった事故があったのか教えて頂けま すか。
事務局	スプレー缶の事故につきましては、具体的には北海道の方で起きた事 故で、お鍋で火を使っている際に穴あけ作業をして爆発をしてしまっ た死亡事故などが発生しています。事故が発生して以降、環境省から も排出方法についてできるだけ事故のない形で収集、排出できる環境 をつくるようにという通知がされております。
委員	いつもの習慣で開けている人も多いと思うのですが、逆に現在は穴を 開けてはいけないということでしょうか。
事務局	穴を開けてはいけないということではないですが、基本的に安全に出 していただくための変更ですので、穴は開けなくて結構ですというこ とになります。これまでの習慣で穴を開けていただいている方も見受 けられますので、万が一の事故が発生しないよう市民の方にご案内を していきたいと思っております。
委員	レジ袋削減プレートに関してですが、見本はありますか。

事務局	まだ完成しておりません。今の段階では表示のプレートのデザインを検討中なのですが、資料に載せてある図のイメージでカラーを予定しております。
委員	完成したら一個いただければ商店会連盟の会合の際に、ご協力いただけるお店がないか紹介したいとお聞きしました。
事務局	レジのすぐ横に置いて、邪魔にならないよう小さめな作りです。コンビニエンスストアさんも限られたスペースの中でお仕事をされているので、できるだけお客様に見える位置でコンパクトなものをという形を予定しております。今お伺いしたことについては、数が今年度全て用意できるか分かりませんが、見本ができたからお渡しします。是非ご協力の方よろしくお願い致します。
委員	雑がみ袋のことで、紙袋の持ち手の部分がプラスチック製だと思うのですが、丈をもう少し高くしてその部分に穴を開けて持つところを作ればプラスチック製も一緒に出すことがなくていいと思うのですが。
事務局	実は持ち手の部分も紙製になっているので、そのまま出していただけます。平らなタイプの紙製の持ち手も考えたのですが、こちらのタイプの方がコストが安く済むということで、このような形になりました。そのまま出していただいても問題ないですし、できるだけコストを抑えて啓発をしていきたいと思えます。
委員	コストを考えると、紐を通すのは手作業になるので、高いと思います。丈を 1~2 cm 高くして穴を開けて持ち手を作った方が安く済むのではないかと思います。
事務局	そのまま穴を開けて持ち手を作るというイメージですね。基本的には施設見学に来た小学生に配付しているのですが、年間に 1、2 回増刷をかけているので、基本的なデザインは変わらないですが、その方が安く作れる可能性もありますので、それが可能であれば是非そのような形で検討させていただきます。
委員	マチはどのくらいありますか。雑がみで一番多いのはティッシュの外箱だと思います。横に入れたい場合、マチがあった方がたくさんはいると思いますが。

事務局	<p>実はその袋にも書いてあるのですが、この袋でないと回収できないということではなく、あくまで啓発をするためのサンプルとして作製しております。他市では大きな紙袋を雑がみ袋としているところもありますが、大きさをさることながら私共としては、できるだけこれ以外の紙袋を使って集めていただきたいと考えております。大きさを含めてご意見いただきましたので、検討したいと思います。また、ご家庭の余った袋を使っていただくと二次的なりサイクルとなりますので、そちらも使っていただければと思います。</p>
委員	<p>18 頁の減量目標についてですが、705g、685g と書いてあるのは3年間で20g 減らしたいという目標ですが、この辺を設定したのはどのような考えに基づくのでしょうか。グラフを見ると少しずつごみの量は増えているように見えるのですが。それに対し実際に685g まで減量しようとしているのか、1年で6g 減量の努力目標という感じなのでしょうか。それとも一括目標なのでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらにつきましては、努力目標としています。一つにはごみは少ない方がいいですが、過度な負担をかけたりルールを厳格化することによって逆に出しにくい排出環境になることもありますので、削減には努めていきますが、努力目標として考えております。685g につきましては、長期のごみ処理基本計画が平成23年に策定されており、当時の基準となったのは平成21年度のごみ排出量となっています。10年近く経ちそこからの全体の流れを見ますと、少し増えているようなグラフにはなっていますが、少し長いスパンで見ていただくと、どちらかというと減少傾向にあります。平成26年辺りから少しずつごみの量が増えているので、見直しをかけ7%程度の減量目標を立てて、平成33年に685g を目標にしようという形で立てさせていただいたものです。</p>
委員	<p>磐田市は基本的にはそんなに減量に対して困っていない、例えば焼却の施設が足りないということでごみ減量をしたいという強い要望や要求というのはないのでしょうか。市のごみ対策課としてはできるだけ現状維持でいいということでしょうか。</p>
事務局	<p>決してそのままでいいというわけではないですが、委員が言われるように例えば東京の多摩地区辺りは施設の建設が困難ということが原因でかなりの減量を進めています。磐田市が今、切羽詰って焼却場がなく困っているだとか、施設が統合されることによって出すところがなくなってしまう状況ではございませんが、ごみの減量や資源化を進めていくということは、将来に向けてできるだけ負担を減らすというこ</p>

とも繋がりますし、循環型社会を形成していくためには必要な事だと考えております。今後も過度な負担がないように減量化を進めていきたいと考えております。また参考までに申し上げますと、全国的に見て本市のごみ排出量と一人当たりのごみ排出量は、同人口の自治体と比べましてもかなり少ない方です。

委員 ごみを減らすことの努力目標はよくわかるのですが、努力目標ではなく具体的に、このように減らしていくという政策があると思うのですが、それがないと減っていかないとします。前回は堆肥化容器購入補助の話が出ましたが、補助金の申請数があまり増えていない、頭打ちになっているということですが、例えば堆肥化容器を集合住宅の方にもお願いするだとか、家庭菜園があるお宅などに利用を勧めてみるだとかそういう具体的な方法を考えたらどうでしょうか。

事務局 堆肥化容器の助成については、庭があったり、畑があるお宅でないと使用できないということもあり、なかなか補助金の申請件数が伸びない現状があります。ご意見いただきましたように、集合住宅向けの直接的な堆肥化容器の設置などもできるかもしれないですし、他の自治体でそういった取組みをしている所もあるかもしれませんので、調べさせていただきます。堆肥化が一番効率的だと思いますので、少しでも生ごみが減らせるように是非研究させていただきたいと思います。

委員 堆肥化容器の中に使う発酵促進剤のようなものも場合によっては市民に少しお安く分けてもらったりできれば、より堆肥化容器を使う人が増えるのではと思います。堆肥化容器には補助金が出ますが、あまり増えていなければそういうものを付けていくのも一案だと思います。

事務局 委員が言われるように新たな人に使っていただくというのも重要ですが、現在使っていただいている方が、より長く継続していただけるような方法も一緒に考えていきたいと思います。現在は堆肥化容器だけの補助金になりますので、中で使われている薬剤も安くお分けするのをお配りするの、いずれにしても継続しやすい環境を一緒に考えていきたいです。

事務局 減量の取り組みの中で委員が言われたように新たに出たごみをリサイクルしていくということもこれから啓発を行っていきたく思います。現在、静岡県でキャンペーンをおこなっています食品ロスの削減についても啓発をさせていただいております。家庭でも適量を食べ切ってもらい、ごみを出さないことも大切です。先ほど担当から組成に関する説明をしましたが、平成 28 年度生ごみの中で水分量が約 50%

だったことに対して、29年度については73%で多くなっています。昨年も審議会に出席して下さった方は分かると思いますが、水切りの提案を市民の方からしていただいて啓発をしてきたはずですが、逆に水分量が増えていて、ごみ排出量の重量が増えている原因にもなっています。ある程度原因が見えてきているので、そこを徹底して啓発していきたいと思います。藤田委員は自治体連合会の地区長さんでもありますので、啓発等お願いすることもありますので、その際はよろしく願いいたします。

委員 先ほど出たスプレー缶の穴あけに関してですが、私の自治会では衛生委員さんが立ち会いをして穴あけしなくていいですよと言っているのですが、こちらの課で直接自治会に携わっている方に指導というのをしているのかどうか。また19頁の標語募集の対象が小学校4年生で、施設見学時に紙を配付するというのがあり、また20頁の雑がみ回収袋もセンターを見学する小学生に配付とありまして、小学4年生全員に1人ずつ配付することになるのかその点について教えてください。

事務局 小学4年生については、毎年4年生になると市内の小学校全校がクリーンセンターへ見学に来ていただいております。スプレー缶の案内については、スプレー缶は缶の日に回収するように専用コンテナを作りましたが、通常の缶のごみの中にスプレー缶を入れてしまう方が非常に多く、数か所の自治会さんの方には直接お伺いして、間違いないように出していただくようお願いした経緯がございます。ただ、穴あけをしないでくださいというお願いは、チラシやカレンダーなどの配布物の中でご案内していただいております。職員が直接、案内に行くということはありませんでした。

委員 直接現場で職員が行って指導するというのは数が多いので大変だと思いますが、自治会の衛生担当もしくは自治会に通知をしたので、それを回覧したということで全自治会に周知したということでしょうか。

事務局 今回の段階では回覧チラシ等で通知させていただいたことで周知させていただいたという解釈です。

委員 自治会によってはごみ当番がいるところといないところがあって、いるところは穴あけをしなくてもいいよということと言えると思うのですが。

事務局	目的はそういった事故を防ぎたいということから始まっていますので、十分周知できるように今後も案内をしていきたいと思ひます。
委員	日曜日サイクルステーションは市内 5 か所あるということでしたが、どこにありますか。
事務局	日曜日サイクルステーションというのは、第 1、第 2、第 3、第 4 の日曜日にやっております、場所ですと第 1 の日曜日は磐田クリーンセンターのリサイクルステーションを開設しております。第 2 については福田交番の前にある昔の消防の分遣所の跡地がありまして、そこで開設をしております。第 3 日曜日については、竜洋のストックヤードと言ひまして、なぎの木の南側の場所と豊岡支所の駐車場で開設しております。第 4 日曜日は、豊田支所の北側の駐車場で開設をしております。時間が 9 時から 11 時ということで時間は限られてしまうのですが、多くの方にご利用いただひているという状況です。カレンダーやガイドブックでご案内しております。
会長	その他、ご意見、ご質問はござひますか。 《意見・質問なし》 これにて質疑を打ち切ります。

7. 閉会

会長	たくさんのご意見ありがとうございました。以上で、本日の審議はすべて終了いたしました。熱心なご審議をいただき、誠にありがとうございました。それでは事務局にお返し致します。
事務局	本日は貴重なご意見を頂きまして、ありがとうございました。これから 1 年間取り組んでいきたいと思ひます。前回前々回もいろいろな意見を頂きましてまだ出来かねていることもありますけれども一つ一つ頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。本日は本当にありがとうございました。以上をもちまして、第 1 回審議会を終了致します。ありがとうございました。